

ともにさく、新潟

ニュース

部内資料

ともにさく、新潟 No35/7月14日

新潟事務所 〒950-0964 新潟市中央区細川原1丁目15-23 新光ビル2F
TEL 025-278-8939 FAX 025-278-8940
E-mail:tomonisaku@bf.wakwak.com



ともにさく、新潟 検索



写真右奥の新潟駅構内まで
ギッシリの参加者

うち越さくら候補の演説（要旨）

野党統一候補、うち越さくら、うち越さくらでございます。
みなさまに支えられ、無我夢中で、県内を駆け巡ってまいりました。

私は新潟県産コシヒカリを食べて育ったので、からだの半分は、新潟コシヒカリでできています。美味しいお米をつくるために、懸命に農作業をしてくださっている、そんな現場にも伺いました。私は、農業戸別所得補償制度を復活させ、新潟の農業、食の安全、安心を守るために、全力を尽くします。

私は、弁護士として、虐待を受けた子どもたち、DVに苦しむ女性たち、非正規雇用の低い賃金と奨学金の返済で、貧困に喘ぐ若者たちを支援してきました。不条理を解決するのが、政治の使命です。苦しむ国民の声に全く耳を傾けない、そんな冷たい政治を変えなければなりません。

子育てしながら仕事を続けてきた母親として、生活者として、子育て支援・年金・医療・介護・福祉の充実に全力をつくします。

みなさん。中央から押し付けられた柏崎刈羽原発のリスクと政治的分断に、もう苦しむ必要はありません。再生可能エネルギーで地域経済の活性化をするために、本気の「原発ゼロ」に向かって、ともに進もうではありませんか。

10月には、消費税の増税。「消費税を上げられたら、もう暮らしていけない」「もう商売を続けられない」。その

思いは、私、うち越さくらに託してください。

消費税増税をストップする。その代わりに、アベノミクスで大儲けをした大企業や大金持ちに、応分の負担をしてもらいましょう。

相手候補には、忖度された総理と財務大臣、巨大政権与党の、中央の大物議員が、続々と応援に駆けつけています。中央の権力との壮絶な闘いです。しかし、私は何も怖くありません。私、うち越さくらには、「越後の3人娘」をはじめとする、地元の議員の皆さんがついています。そして、この国の民主主義を再生したい、平和憲法を守り、子どもたちに輝く未来を約束したい、真っ当で正直な政治を取り戻したい。そんな、崇高な思いを胸に抱き、ただ黙々と応援して下さる多くの人々。この、雪深いふるさとで、まじめに、慎ましく暮らす、みなさまの献身的な応援があります。

このたたかい、負けるわけにはまいりません。おかげさまで、相手候補の背中に手が届くところまでまいりました。でも、まだ足りない。まだ追いつかない。

権力に擦り寄り、上ばかり見る、「そんなく政治」ではなく、弱い人を自己責任と切り捨てない、地方をないがしろにしない、「誰一人取り残さない政治」。「ともにさく政治」をどうしても実現したいのです。

どうかみなさま、うち越さくら、うち越さくらを勝たせてください、勝たせてください。宜しく願いいたします。